西洋の書物工房』読書会　第17回　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　　　　　　 2016.02.25

朗読箇所：第五章　モロッコ革をもとめて

　　　　　三　　イギリスのモロッコ革

　　　　　四　　さまざまなモロッコ革

三

・フランスとイギリスの相違

1. フランスの革装・・・マロカン・デュ・カップ

　　　　　　　　　　特徴) 丸シボ、キズが少ない、一枚の革が大きい

1. イギリスの革装・・・レバント・モロッコ革

　　　　　　　　　　特徴) マロカン・デュ・カップに似る

・・・オアシス・モロッコ革

　　　　　　　　　　　　　 特徴) 長シボ、ギン面にキズが多い、革の大きさはマロカン・デュ・カップの半分程度

・レバント・モロッコ革は、もはや実物は流通せず入手することができない（次節参照）

・レバント・モロッコ革が入手困難になった結果、イギリスではオアシス・モロッコ革が愛用されるようになった

・余談　イギリスの製本家Philip Smith の作品

四

・最良のモロッコ革

1. フランス・・・マロカン・デュ・カップ

　　　　　　　地域) 南アフリカケープタウン

1. イギリス・・・レバント・モロッコ革

　　　　　　　地域) 近東のレバント地方（シリア・レバノン・パレスチナ）

　　Cf.両者を混ぜたコスモポリタンな名前「フレンチ・ケープ・レバント・モロッコ革」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当：小松原記子

参考文献

①A history of English craft bookbinding technique 4th rev. ed / Bernard C. Middleton ; foreword by Howard M. Nixon 1996 <附図 B1M 書庫 UE||91||M1>

②The restoration of leather bindings / Bernard C. Middleton ; drawings by Aldren A. Watson 1972 <附図 B1 書庫 4-0||M||244>

③西洋の書物：エズデイルの書誌学概説 / A.エズデイル [著] ; R.トークス改訂 ; 高野彰訳 <附図 B2 書庫 4-49||セ||57>

④Philip Smith Book Art http://www.philipsmithbookart.com/ アクセス日時2016/02/25/12:30

⑤Les fragments de M　reliure close-up | 革

http://www.frgm-reliure.jp/reliure/reli\_cu-kawa/　　　アクセス日時　2016/02/24/19:00

（日本人の製本家がルリユール関連の話題を提供。オアシス・モロッコ革の写真あり）